

# 伊下里 市議会だより

第34号

平成22年  
(2010年) 7月



**一輪車、上手に乗れるでしょ！** (波多津小学校 一輪ピック)

6月補正：16億8,592万円

補正後の予算 一般会計：209億2,792万円  
(対前年度同期 +4億2,171万円 +2.1%)

★平成22年第3回定例会は9月3日(金)開会予定です。

## 平成22年伊万里市議会第2回定例会 会期日程

6月

開議時刻 午前10時

日	種別	内容
14(月)	本会議	開会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等 20件……一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
16(水)	本会議	議案等に対する質疑
17(木)	本会議	議案等に対する質疑 議案の常任委員会付託
21(月)	本会議	一般市政に対する質問
22(火)	本会議	一般市政に対する質問
23(水)	本会議	一般市政に対する質問
24(木)	休会	常任委員会
25(金)	休会	常任委員会
28(月)	休会	正副委員長会
30(水)	本会議	追加議案、意見書案、決議案の上程 追加議案の提案理由説明 追加議案に対する質疑 意見書案、決議案の提案理由説明 意見書案、決議案に対する質疑 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 議案の付議順序により討論、採決 特別委員会委員の選任、正副委員長長の互選 佐賀県西部広域環境組合議会議員の選挙 閉会

## 議会ホットコーナー

### ◎副市長の選任への同意

江頭興宣氏を副市長に選任する議案について、全会一致で同意しました。同氏は、これまで教育部長、総務部長を歴任。市長の補佐役としてだけでなく、新統合病院や新ごみ処理施設に関する会議等でも重責を務めて頂きます。

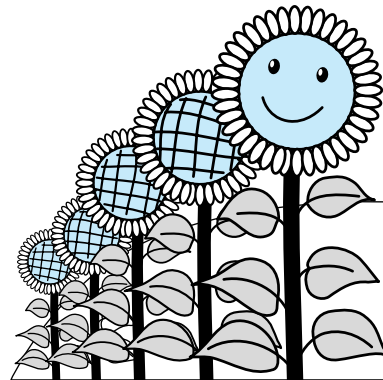
また、前任の前田和人副市長には、8年間の長きに渡りお疲れ様でした。今後とも伊万里市の発展に向けてご助力をお願いします。

### ◎全国市議会議長会 永年勤続表彰

・勤続15年以上：占野議員

### ◎人権擁護委員の承認

金子義弘さん、岩本純子さん、金子幹夫さんの再任を承認しました。



## 定例会会期日程など

### 議案質疑

#### 一時預かり事業について

**質問** 昨年9月議会で議論したように、これは待機児が多い都会向けの制度であり、伊万里では事務面で困難な園が多い。今回5園分の予算が計上されているが、どのような状況か。

**答弁** 市民部長

うち1園はほぼ実施へ向けての準備段階にある。4園については検討中であり、今後の補正も考えたが、県が追加は認めないとのことであったため、今回5園分計上している。

### 意見書

#### 口蹄疫対策の強化・充実に を求める意見書

平成22年4月に宮崎県で発生した口蹄疫は、その後も拡散を続け、九州管内は勿論のこと社会、経済活動に計り知れない大打撃を及ぼしており、更に各種市場での販売に困難を来すことが予想される。

国及び政府にあっては、「行政の責任」において、口蹄疫対策を強化し充実した各種支援事業に取り組みられることを求めるものである。

**総務委員会**

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました、条例議案4件及び補正予算を審査し、原案の通り可決すべきものと決定いたしました。

**消防本部**

- 訓練塔の改修284万円：建設から30年以上経過し老朽化によって使用時に危険性が高いため改修する。



訓練塔



腐食した階段

- 消防緊急通信指令システム更新176万2千円：平成13年4月から稼動している消防本部の心臓部であり、経年劣化による障害等が発生したため、リースにて更新する。

どちらも現地視察を行い、状況を確認しました。

**総務部**

- 市長・副市長・水道事業管理者並びに教育長の給料月額削減について:条例に定められている額から市長5% (95万円⇒90万2,500円)、副市長4% (75万8,000円⇒72万7,680円)、水道事業管理者並びに教育長3% (68万1,000円⇒66万570円) をカットする改正。
- 伊万里市職員の勤務時間及び休暇等に関する条例及び伊万里市職員の育児休業等に関する条例の一部改正は、子育て支援の一環として夫婦での子育てを一層支援するための法改正によるもの。

- 税法改正による税条例の一部改正：たばこ税率の引き上げについては、小売価格で110円～140円の値上げ、代表的銘柄のマイルドセブン現行300円が410円になる見込み、今年10月1日より施行。
- 防犯灯設置費補助60万円：各行政区が行う施設整備に一定の率で補助する。
- 辺地共聴施設整備事業費補助金2,297万8千円:地上デジタル放送への移行対策を進めるため、国・県の補助金を活用し波多津町加倉地区共聴施設の改修と他地区の共聴施設新設事業への補助金。

**政策経営部**

- マイタウン定住奨励金264万円：伊万里市への定住を促進するため、市内に土地と家屋を取得した転入者に対して一定の奨励金を交付する。平成20年度・21年度各々6件の実績があり、今年度は8世帯分を予算化。
- 婚活応援推進事業65万1千円：50歳時の未婚率を示す生涯未婚率は、次のようになっている。

		平成12年	平成17年
男性	伊万里市	11.80%	15.13%
	佐賀県	9.99%	13.70%
	全国	12.21%	15.49%
女性	伊万里市	5.03%	6.00%
	佐賀県	5.99%	7.08%
	全国	5.74%	7.10%

※国勢調査の結果から算出

少子高齢化が進むなか、地域全般の活力の向上や定住促進などのために市民の結婚活動を支援する。

- 地域の元気推進事業948万2千円：町・地区公民館を単位に地域に権限・財源を移譲し「自助・共助・公助」をもとに行う自主的・自立的まちづくり事業。この事業は平成20年度～24年度までのもの。
- 伊万里・アジアネットワーク事業194万円：中国へ向けた伊万里の資源等について民間企業とタイアップし販売活動を推進する。

◎前田 儀三郎 ○山崎 秀明  
前田 教一 松永 孝三 高木 久彦  
占野 秀男 盛 泰子 浜野 義則

## 文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、  
教育委員会、市民病院

当委員会に付託されました条例議案2件、補正予算2件について、慎重審査の結果、原案通り可決すべきものと決定しました。

## 条例議案

- 伊万里市敬老祝金支給について：平成19年度から、「つる・かめ敬老祝商品券」として、長寿者に対し敬老の意を表し、9月30日現在で満88歳、90歳、99歳以上の方に千円券3枚の商品券を配布していました。これは地域経済の活性化を図り、地域振興に資すものとの目的でしたが、3年を経過し使用状況の検証を行った結果、使用割合は80%程度に止まっている事が判り、利用する店舗についても偏りが見られる事等もあり、現金支給（一人3千円）に見直す条例改正であります。

## つる・かめ敬老祝商品券の利用実績

年度	対象者	交付数	使用数	割合
H19	380人	1,140人	997人	87.4%
H20	423人	1,269人	1,079人	85.0%
H21	451人	1,353人	1,212人	89.5%

- 伊万里市動物の愛護及び管理に関する議案では、近年ペットブームで飼われている動物の飼い方について、最近マナーの悪い飼い主や、無責任な飼い主によって近隣住民が大変迷惑をする事態が増えてきました。これまで、市では「犬取締条例」に基づき、犬の飼い主への指導や勧告、命令、野犬の捕獲などを行っていましたが現在市民から寄せられている迷惑被害に関する苦情相談については残念ながら十分に対応出来ていないのが現状でした。そこで今回、違反をした者には、20万円の罰金を含む、1条から15条までの条例を新たに制定するものであります。その中で、飼い主の責務として、特に犬、猫についてはふんの回収に努め、泣き声や悪臭、感染症の予防なども行い、

又、野良犬や野良猫などに安易に餌を与えてはいけない事になっており、もし餌などを与えていると、飼い主とみなされ飼い主としての責任を問われる条例です。

## 補正予算

- 民生費では、福祉タクシーの利用料金の改定があります。今までは一人年間4,500円の助成額でしたが、10,000円に引き上げられ、精神障害者の支給対象者を1級のみから2級まで拡充されると言う内容で、123万6千円の事業費です。又、保育園に行っていない乳幼児の保護者が病気等により、家庭で面倒をみる事が出来ない時の一時預かり事業の計画の説明を受けた。市内5つの保育園が今回から取組む予定という事です。
- 衛生費では、中核的病院整備推進事業の負担金の割合が示され、運営費負担金、整備事業費負担金合わせて2億9,823万3千円の予算額が計上されました。
- 教育費については、特色ある学校創造事業費として250万円の予算が計上され、これは各小中校の校長の裁量権を認め創意工夫を生かした特色ある学校づくりを推進する事業であります。又、耐震強度診断の結果、今回は二里小学校が改築の必要という事で、新しい校舎が出来上がるまでの5年間、仮設教室を設置して工事を行うという事であり



耐震強度診断で改築が必要となった二里小学校校舎

- ◎笠原 義久 ○草野 譲  
内山 泰宏 船津 賢次 前田 久年  
樋渡 雅純 島田 布弘 下平 美代

## 産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託された条例議案2件、補正予算議案2件について、審議した結果原案通り可決しました。

## ● 産業部

●緊急雇用創出基金事業で雇用した場合の雇用期限は。

(答弁) 雇用期間は6ヵ月となっており、1回の更新は可能です。

●強い園芸農業確立対策事業費補助金は、農家からの要望事業すべての予算となっているのか。

(答弁) 22年度当初計画分については予算化が来ています。

●畜産自給力強化対策事業に関連しての質問であるが、今年「口蹄疫」が猛威をふるっており、その感染経路は特定されてはいないが、一説では輸入稲ワラとの声もある。この事業をもっと活用して地区内確保が出来る耕畜連携の取り組みをしてはどうか。

(答弁) J A伊万里と協議し検討します。

●松浦鉄道支援事業についてMRの収支と車両更新の状況は。

(答弁) 21年度は1,600万円の黒字となっております。車両更新は全車両26両の内、現在まで16両済んでいます。

●ツル越冬事業はいつまで行うのか。

(答弁) 現在、出水市に集中しており、鳥インフルエンザ等の伝染病が発生した場合の対策として越冬分散化計画での指定地となっていますので、伊万里にツルの越冬が定着するまで考えています。

●企業誘致では、SUMCOの誘致を行ったが、今年の市内からの採用状況と昨年の決算はどうだったか。

(答弁) 今年の採用は35名中11名でありました。又、決算を正確に報告する事は控えさせていただきますが、太陽光ウエハー等により前年に比べ大きく回復傾向にあります。

## ● 建設部

●浄化槽設備整備事業で公共下水道が整備出来

ていない地区に対する浄化槽購入補助金があるが、浄化槽の耐用年数を越えた場合の更新も対象となるのか。

(答弁) 現在までそのケースはないが検討を致します。

●交通安全施設整備事業市道八谷掬海岸通り線は、高低差がある。U字溝布設でのフラットな工事は出来るのか。

(答弁) 現状を著しく変えるのではなく努めてフラットな工事を行います。

●浸水対策事業で、予算化されている事業の工事具体策は。

(答弁) 県道大坪～木須線が来年3月市民会館裏まで部分開通をしますので、その先の工事を急ぐなど全面開通が急務となっております。しかし最終区間が常襲冠水地となっておりますので排水対策を講じなければなりませんのでその調査予算です。

●都市公園整備事業の予算が計上されているが、黒澤記念館は中止と決まった。何故予算化されているのか。

(答弁) この予算は記念館予定地のものではなく既存の景観や施設管理の予算である。又、記念館予定地跡は民間利用も含め今後検討して行きます。

●定住促進事業の現状は。

(答弁) 現在の空き家登録は5件。20名程度の問い合わせはあったが、条件が折り合わず実績はありません。



本年度開通を予定している「都市計画道路・大坪～木須線」工事現場（大坪町つつじヶ丘付近）

◎堀 良夫 ○松尾 博幸  
松尾 雅宏 多久島 繁 渡邊 英洋  
岩橋 紀行 田中 啓三 福田 喜一

# 一 般 質 問 (質問順)

議員名	質問事項	議員名	質問事項
岩橋 紀行 (一問一答)	1. 市税他、負担金、使用料等の収入状況について (1)平成19年度、平成20年度、平成21年度の未収、滞納状況 (2)未収、滞納対策の結果は (3)未収、滞納解消に向けた取り組みは	多久島 繁 (一問一答)	1. ワクチン接種について (1)子宮頸がんワクチン (2)細菌性髄膜炎ワクチン 2. 体育施設の老朽化について (1)国見台陸上競技場の第3種公認競技場としての存続手だて (2)市が管理する施設の管理状況について
松尾 雅宏 (一問一答)	1. 伊万里市における口蹄疫対策について 2. 戸別所得補償モデル対策について 3. 県道大坪バイパス開通に伴う安全対策について (1)都市計画道路大坪・木須線の部分開通に伴う安全対策 (2)県道黒川・松島線バイパスへの接続についての計画	高木 久彦 (一問一答)	1. 本市建設業の振興について 2. 小・中学校スポーツクラブ指導者の体育指導委員等の認定について
		浜野 義則 (一問一答)	1. 冠水常襲地域対策について 2. 口蹄疫対策について
下平 美代 (一問一答)	1. 市長に対して8,043人から寄せられている「伊万里・有田統合病院」の課題について (1)開院時の医師の充足の目途 (2)他の公的病院との比較でも建築費が高い (3)財政上の危惧 (4)起債(30年償還、30年後の伊万里市人口推移) 2. 市制25周年記念事業の一環としての「交響詩伊万里」のその後について 3. 大川内山キャンプ場、ピノキオの家の整備について	船津 賢次 (一問一答)	1. 国民健康保険制度について (1)国民皆保険制度を守る立場から 2. 伊万里市の財政状況について (1)先の市長選挙の争点となったことに関連して
		盛 泰子 (一問一答)	1. 伊万里市の財政状況について (1)市民に分かりやすい説明の工夫 2. 黒澤明記念館について (1)交渉の現状 (2)文化振興財団の現状 ①理事会 ②「黒澤明生誕100年祭 I N宮島」 3. 子どもたちの活躍への支援について (1)小中学校各種大会出場等への支援 (2)社会体育での出場への支援 4. 伊万里駅バス乗降場について (1)椅子の設置 (2)横断歩道の照明
島田 布弘 (一問一答)	1. 佐賀県西部環境組合(4市5町)によるセメント原料化システムによるゴミ処理方式について (1)地元の当初からの最終処分場の縮小化の要望は何故受入できないのか (2)安全の担保が充分でないセメント原料化は見直して白紙に戻すべきと思うが	前田儀三郎 (一問一答)	1. 小中連携と小中教育の研究推進について (1)小中学校卒業生の市外への転出と現状 (2)市内の小中学校でのモデル校の取り組みについて 2. 松浦鉄道と伊万里牛バーベキュー列車運行について (1)恒久化での専用列車運行の考えは 3. 国道498号の土砂崩れ復旧の目途は (1)早い復旧と仮設道路の検討を
笠原 義久 (一問一答)	1. 郷土を愛する子供達を育むために 2. 新統合病院の問題点について 3. 伊万里市の口蹄疫対策について		
松永 孝三 (一問一答)	1. 環・伊万里湾を核にした都市づくりについて (1)港湾整備における進捗状況について (2)環・伊万里湾を核とした産業の振興策について (3)伊万里湾の周辺海域の環境問題について (4)環・伊万里湾を核にした行政について		

一般質問

市税・負担金・使用料  
の収入状況について

岩橋 紀行

**質問** 徴収すべき税等が、一向に改善の兆しが見えてこない状況にある。そこで①市税（国保を含む）、②保育料、③住宅使用料、④公共下水道使用料、⑤農業集落排水使用料、⑥学校給食費、⑦留守家庭児童クラブ利用料、⑧水道料金の21年度末での未収、滞納の状況はどうか。

**答弁** ①総務部長 ②市民部長 ③建設部長 ④教育部長 ⑤水道部長

滞納額は①市税6億6400万円、国保税6億7500万円②4114万円③366万円④3854万円⑤281万円⑥172万円⑦166万円⑧2712万円  
**質問** 金額の大小に関わらず未収に対する対応は。

**答弁** 各部長  
文書、訪問、電話による納付相談や指導を実施している。

**質問** 未収・滞納解消に向けた取り組みは。

**答弁** 各部長  
対応状況を踏まえて、減免、差し押さえ、来庁指導等の納税相談を強化している。

**質問** 今年度より子ども手当が支給されるが、特に保育料、留守家庭児童クラブ利用料、学校給食費については、きちんと支払っている保護者との「公平性」を担保するためには、自治体の裁量で考えるべきだと思ふ。

**答弁** 市民部長  
法的に天引きは出来ないため、滞納者には支給後に相談し、納付計画書等の提出など納付勧奨を行っている。

口蹄疫対策・戸別所得補償モデルについて

松尾 雅宏

**質問** 口蹄疫が、伊万里の畜産に及ぼす被害と、もし県内、市内に発生を見たときの対策は万全か。又、豊後大野市の橋本市長が各種イベントを自粛するよう求めた事で批判をされたが、市長はどう思うか。

**答弁** 産業部長  
県内、市内に発生を見たときは県の対応指針と連動し、農家の立場に立ち初動体制に万全を期す。市独自の支援策の一つとして「マルキン事業」拠出金助成は前向きに検討する。

**答弁** 市長  
橋本市長が、「人との交流は控え、イベント自粛」の発言に東国原知事や農林水産省から、批判を受けられたが、私も自粛すべきと考える。又、口蹄疫対策にはJA組合長とも連絡を取り合っており、本市として

も万全の対策を講じて行く。  
**質問** 米の価格情勢は安値で動いており本年度産米の価格も安値が予想されますので、戸別所得補償制度は全戸加入が必要と思えますが現在までの加入状況は。

**答弁** 産業部長  
取りまとめが済み次第未加入者への再加入を求め

都市計画道路について

**質問** 県道大坪バイパス開通に伴う安全対策は。

**答弁** 建設部長  
周辺道路では、伊万里小、啓成中があり、中央線もない生活道路という事は承知しておりますので、時間帯通行、大型車両の規制等を検討し安全に充分配慮する。

**質問** この道路は七ツ島工業団地や、伊万里工業団地への重要な産業道路であり、早期完成が安全対策への早道と思うのですが、いつから着手するのか。  
**答弁** 建設部長  
来年度からとなる。

伊万里・有田  
地区統合病院  
整備について

下平 美代

**質問** ①市民から届けられた8千数名の署名について②開院（来年12月予定）までに現在伊万里・有田で常勤医師5名の欠員補充は。③一床あたりの建築費が他の公立病院に比べて高いのは。④機器購入費9億円の使用⑤高齢化率の上昇も考慮して亜急性期病床の考えは。⑥医師不足・財政面に対する市民の不安に対し説明会を開き、入札の時期を遅らせる考えはないか。

**答弁** ①市長  
市民の声は十分に受けとめ副管理者の立場として協議会に届けたい。  
**答弁** ②伊万里市民病院長  
大病院になるので医師も要請しやすくなる。九大・長大・佐大等人脈を通して努力しているが厳しい。  
**答弁** ③統合病院推進室長  
入札前の価格と入札後の

一般質問事項

価格では比較できないので、入札後で説明する。  
 ④特定した機種の購入は予定していない。  
 ⑤亜急性期病床は設置する。

答弁 ⑥市長

入札の時期は予定通り進める。市民への理解を得るための説明会は実施する。

大川内山キャンプ場・ピノキオの家の整備

質問 地元の宝は地元が利用してPRしようとキャンプ計画をたてたが、街灯や一部道路の補修が必要。

答弁 産業部長

7月15日のキャンプ場開きまでに街灯・一部道路補修は早急に対応する。(一問省略)



広域ゴミ処理施設

島田 布弘

質問 セメント原料化の一方的な進め方。最終処分場の極小化は地元の最重要課題だが何故受入れできないか。

答弁 市民部長

専門家等で決定されたもの。

質問 企業側と焼却灰の受入れの長期的契約をするべきだが。

答弁 市民部長

企業側はペーパーではできないとのこと。

質問 契約できないことは大問題である。国策のセメント原料化も、農業問題等でも同じく、国策は時代と共に変更され将来的に不安定である。

建設地の伊万里市が積極的に安全面を再考するべきだ。近隣に「松浦の里」の直売所・西日本一の生産を誇る梨園・20世紀梨の発祥

地大川町・観光農園の南波多町・これらに風評被害等が発生した時の対応策は。

答弁 市民部長

絶対ないように行

質問 施設は15年を稼働目安だが、明確化するため、所有者より坪当たり単価で15年間借地が最良と思う現にその借地での施設が現存するが当地は。

答弁 市民部長

土地買収の考えである。

質問 立地市の伊万里市が毅然として、セメント原料化は再考して欲しい。

答弁 市長

安心安全が基本であり公共工事減少で不安な面もある。決定を急がず、首長会でも問題提起したい。又、松浦町の振興策も4市5町の首長会で理解を求めたい。

質問 建設するにあたり子や孫に将来禍根を残すことのない様万全の体制を取り、このまま拙速すぎると松浦町の二分化も予想されその事だけは極力回避願いたい。

統合病院の課題について

笠原 義久

質問 新病院の目的をどのように考えているか。

答弁 統合病院推進室長

現在の市民病院の運営面には限界がある。市民の医療ニーズに応えるためには統合病院が必至と考えられる。総務省の指導を受け、経営面の効率化、統合再編のネットワーク化、経営形態の見直しをしなければならぬ。

質問 運営面で一番問題なのは人件費の負担増である。医業収益に対する負担割合を50%未満に抑えることが絶対条件と思うが。

答弁 市長

統合病院については私は副管理者の立場にいる。人件費が運営面を圧迫しないよう、努力したいと考えている。

郷土を愛する子供達を育てるために

質問 郷土を愛することも育てるには、郷土を深く知る教育が必要と考えるが。

答弁 教育長

必要と思う。その前に教職員の郷土学習が必要であるが、実施するには、予算と時間が必要となってくる。観光ボランティアや、郷土史研究会等、関係団体との連携を深め協力を得ながら、検討していきたい。

口蹄疫について

質問 市は伊万里牛課を設置しているが口蹄疫対策は。

答弁 産業部長

畜産農家の立場に立つことが大事だ。5月24日には自衛防疫連絡協議会を設置したが、4月発生以来、県やJA、家畜専門家の意見を聞きながら、伊万里市に絶対侵入させない方針で種々の対策をとっている。



環・伊万里湾を核にした都市づくりについて

松永 孝三

**質問** 港湾整備における進捗状況について。

**答弁** 建設部長

臨港道路久原瀬戸線入口から伊万里湾大橋手前と大橋西交差点の4車線化が完了、今後は事業効果のみから。

**質問** 産業の振興策について。

**答弁** 政策経営部長

伊万里港の輸出入は順調に推移しており、水産物を輸出するための検査機関の設置は難しい。輸出入の拡大を図るための取組みとしては、国内外の荷主を訪問してPRを行い精力的に取り組む。

**質問** 観光の振興策について。

**答弁** 産業部長

中国からの観光船の誘致

については、国際観光港として設備が整っていない。国内の観光客の誘致については、松浦市と共同で修学旅行などの体験型観光の受け入れなどで協力して観光客を誘致したい。

**質問** 伊万里湾の周辺海域の環境問題について。

**答弁** 市民部長

伊万里湾の環境対策として、毎年、海水や底質土を採取して調査を実施して市の広報で公表しており、伊万里湾周辺自治体と共有の財産という認識をして環境保全に取り組む。

**質問** 環・伊万里湾を核にした行政について。

**答弁** 市長

平成17年に環・伊万里湾核都市研究会を設立し、伊万里湾を共有の財産として連携をしながら発展させた。松浦市との物産展の開催やマリンツーリズムやグリーンツーリズムなど共同で取組み、医療や消防行政でも連携をしていきたい。

子宮頸がん・細菌性髄膜炎ワクチン接種に公費助成を

多久島 繁

**質問** 子宮頸がんワクチン・細菌性髄膜炎ワクチン（ヒブワクチン）接種が承認され、県内市町によっては公費助成が始まったが、当市も公費助成の考えはなにか。

**答弁** 市民部長

国からの公費助成が筋であるが、他市の動向を見極めながら考えていく。

**質問** 国・県へのはたらきかけをしながら、市民の命・健康を守るための独自の対策を講じていく必要があるかと考える。

**答弁** 市長

国・県へのはたらきかけをしながら、市民の命・健康を守るための独自の対策を講じていく必要があるかと考える。

体育施設の老朽化に対する取り組みについて

**質問** 陸上競技場を第3種公認競技場として維持するための認定クリアの条件と

してトラックの張替え工事が必要となるが、1億円強の財源をどうするのか。

**答弁** 教育部長

市単独で行うのは財政的にも困難であると共に、国・県の補助制度も見あたらぬが、引き続き財源確保に努力したい。

**質問** 陸上競技場の女子更衣室に着替える為の更衣ボックスの設置、テニスコートのトイレ入り口ドアの取替え等善処出来ないか。

**答弁** 教育部長

更衣所のカーテンでの切り、トイレのドアの取り換えは行っていきたい。

**質問** 野球場の黒土の年間搬入量を増やしてほしいかどうか。

**答弁** 市長

陸上競技場の第3種競技場への認可が受けられるよう頑張っていく。野球場の黒土も搬入量を増やしていく。

本市建設業の振興について

高木 久彦

**質問** 市内建設業は、事業予算の大幅な削減等により、廃業や事業縮小せざるを得ない状況にある。市として、このことをどう受け止め、どんな振興策を講じる考えか。

**答弁** 建設部長

工事高は十年前と比較して1/4になっている。急激な景気回復も望めなく、厳しい状態が続くことが予想される。特殊工種を除き、地元優先に発注しているが、国・県に対しても、地元発注を要望したい。

**答弁** 市長

新政権になり、「コンクリートから人へ」の方針であるが、地方はまだ、コンクリートが必要である。以前は公共事業も多く、建設業は中心的な産業であった。現在はパイ自体を増やせない状況にあり、国・県

一般質問

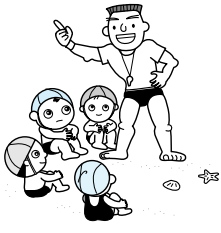
の事業でも市内における工事は、伊万里の業者で出来るようお願いしたい。市の工事予算計上にも努力したい。

少年スポーツクラブ  
指導員の「体育指導員」等認定について

**質問** 子供達のため精力的に活躍されている監督やコーチを、市の指導者として認定してはどうか。

**答弁 教育部長**  
スポーツ少年団に登録し、指導者講習を受ければ「認定員」や「認定育成員」の公認資格が得られる。

**答弁 市長**  
市として正式に認定することについては、スポーツの向上と指導者としての自負や名誉を自覚することになると考えられるので、体育協会等の意見を聞くなど検討したい。



冠水常襲地対策について

浜野 義則

**質問** ①常襲的に冠水する地域は市内にどのくらいあるのか。②市が管理する準用河川の整備状況は。③長浜地区の冠水対策は。

**答弁 市長・建設部長**  
①山代町の波瀬・楠久津、東山代町長浜、黒川町黒塩・浦分・塩屋・真手野、木須町松島川等が冠水常襲地になっている。②市内27準用河川のうち整備中の煤屋川を含め矢竹川・長浜川の3河川が制度事業で整備されているが他の河川は補助事業の採択条件に適合せず一部の局部整備を除いて未整備の状態にある。③長浜川は既に整備が済んでいるが干潮河川であり勾配もないことから堆積土砂等で改修の効果が薄れている。今度調査をして当面の対策としては堆積土砂を除

去したい。  
排水ポンプ設置等の強制排水は単独事業となり事業費も多額になることから方策等を今後検討していきたい。

口蹄疫対策について

**質問** 口蹄疫対策は先ず感染させないための防疫体制の確立が最重要であるが、万が一、感染が発生した時も含めて市の対応は。

**答弁 市長・産業部長**  
伝染病は感染を防止することが何より大事なことから、宮崎県で口蹄疫が発生した直後から県や関係機関と連携して防疫体制の確立に取り組んでいる。  
万が一、感染した場合迅速・適切な対応が重要なことから、殺処分家畜の埋却地や発生畜産農家への助成や負担軽減策等も今後関係者と協議したい。

国民健康保険  
制度について

船津 賢次

**質問** 国保の構造的な問題が全国市長会でも指摘されている。その中の一つは、国保に対する国庫負担が、昭和59年と比較して50%から25%に半減されている。二つ目は国保世帯の所得が平成8年をピークに年々下がりがつづけ、昭和59年と比べても12万円も少なくなっている。一方保険税は昭和59年と比べて一世帯当たりでは1.4倍、一人当たりでは2倍になっている。また、会社員などの被用者保険と比べても同じ所得で試算して2倍になっている。その結果として「払いたくても払えない」高い保険税になっている。①短期保険証では限度額認定証が発行されない。②市長は、国庫負担を元に戻すよう国に求めるべきだ。また、③鹿島市では累積赤字解消のため、1

億2千万円を一般会計から繰り入れている。市においても、このような方法をとることはできないか。

伊万里市の財政状況  
について

**質問** 先の市長選で、いわゆる「九州の夕張になる」との主張がなされ、市民に不安が広がっている。過大でも過小でもない正確な情報を提供する義務があると思う。「健全化判断比率」は夕張市と比較してどうか。

**答弁 政策経営部長**  
(答弁を表にしました。)

	伊万里市	夕張市
実質赤字比率	-%	703.60%
連結実質赤字比率	-%	705.67%
実質公債費比率	20.80%	42.10%
将来負担比率	204.30%	1164.00%

# 財政状況について

盛 泰子

**質問** 実質公債費比率が平成20年度県内ワースト2位だった事の分析と市長の所見を。

**答弁** ①政策経営部長②市長  
①会計ごとの分析が必要で、一般会計では11・16%。また下水道等の特別会計で4.8%を占める。②今後も議会と一緒に財政健全化を進めていく。

## 黒澤明記念館問題

**質問** 双方の弁護士による交渉に入っているが、5月末に開かれた理事会はどういう状況だったのか。正式な報告はいつ県に出されるのか。県の管理監督責任が問われるが、市長の3月の判断への所見を。

**答弁** ①政策経営部長②市長  
①理事会は5月28日に開催されたが、県の説明では、

理事の登記などに時間を要し正式な報告は未提出。期限も不明②権利金の交渉に入り、こちらから断念宣言をしないで良かったと思う。

## 子どもたちの活躍支援

**質問** 学校の部活以外で社会体育の大会などに出場する場合の補助が大変少なく、関係者の苦労は甚大。

**答弁** ①教育部長②教育委員  
①財政的に厳しく難しい。②関係者などの意見を聞いて支援のあり方を考えていきたい。

## 駅前のバス乗降場について

**質問** ①もつと椅子が必要。②以前提案したマックスバリュ前の横断歩道照明の改良は。

**答弁** ①産業部長②建設部長  
①必要性は認識。バス事業者や企業などに寄付をお願いする。②指摘を受けて電球を替え、照度は40%アップしている。

# 小中連携と小中教育の研究推進について

前田儀三郎

**質問** 近隣に、中高一貫教育の学校が出来て伊万里市の児童・生徒が毎年市外へ転出しているが、教育委員会の取組みと対応は。

**答弁** 教育長

現在、モデル校として南波多小中学校と滝野小中学校で取組んでおります。先生と教師の交流。例えば小中学校では英語の時間を設けたり、学校行事を合同で開催をしたり、義務教育期間を魅力・特色のある学校教育を目指している。

## 松浦鉄道と伊万里牛バレーキュー列車運行について

**質問** 昨年行ったバレーキュー列車は発売3時間で完売と報告を受けているが、今年度も予算化してあり松浦鉄道沿線の自治体の特産

品も加えたら、地産地消の効果も出るのでは。

**答弁** 市長

伊万里の特産品伊万里牛のPRもかねて行ったが評判が良く、松浦鉄道沿線自治体にも呼びかけて行きたい、松浦市のアジ・サバ、鷹島の河豚等もあり観光の発展にもなると思う。

## 国道498号の土砂崩れ復旧の目途について

**質問** 今年4月24日に発生した地滑り災害において、国道に面する山林が幅約80m・高さ約30mにわたって崩れ、道路を埋めた。現在、1.3kmの通行止めとなっているが復旧の目途は。

**答弁** 建設部長

国道498号の沿線で営業している商店・飲食店・娯楽施設等に影響が出ているのは承知している。又、地区住民の生活にも迷惑をおかけしているため、早い復旧に向け佐賀県と協議を行っている。今年度中には着工見込である。

## 特別委員会の設置

交通網・港湾・企業誘致対策調査特別委員会

市民生活の向上のため、西九州自動車道早期完成の促進、伊万里港インフラ整備の促進、優良企業の誘致推進等に関する調査活動を行う。

◎松尾雅宏 ○多久島繁 渡邊英洋、島田布弘、笠原義久、前田儀三郎、盛 泰子

## 地域医療・環境施設整備対策調査特別委員会

県西部保健医療圏における医療提供体制や地域の中核的医療機関となる統合病院、既存施設の老朽化に伴う新たな一般廃棄物処理施設の整備等に関する調査活動を行う。

◎浜野義則 ○松尾博幸 内山泰宏、草野 謙、山崎秀明、堀 良夫、下平美代

# 一般質問

## 行政視察受け入れの状況（平成22年1月～6月）

月	来訪議会名	人数	視察項目	
1	熊本県人吉市議会	13	議会改革	委
	岡山県総社市議会	6	議会だより	委
	東京都多摩市議会	3	市民図書館	会
	福岡県大川市議会	8	議会改革（議員による条例提案）	委
4	静岡県三島市議会	5	都市計画道路伊万里駅前線	会
	兵庫県姫路市議会	5	伊万里牛課	会
5	富山県南砺市議会	6	議会だより	委
6	東京都豊島区市議会	1	婚活応援課	個

※ 人数は議員の他、随行者も含まます

※ 「委」は委員会、「個」は個人、「会」は会派での視察を意味します

※ 多くの場合、伊万里市内に宿泊されています。伊万里市議会も出来るだけ視察先の自治体に宿泊するように努めています。

公職選挙法の規定により、選挙区内の皆さんへの金品を伴った初盆のお参りや、時候のご挨拶には制限がありますので、失礼させていただきます。

議員一同



暑中お見舞い  
申し上げます



赤ちゃんニコニコ、  
みくんな笑顔  
（フックスタート事業）

## 編集後記



定例議会は年4回。通常3の倍数の月に開かれます。開会から閉会まで緊張の連続ですが、CATVの放映があるからでしょう、「議会見ましたよ」と言われるのはとても嬉しいものです。

放映されるのは、議員各人が問題点の指摘や提案をする「一般質問」です。会派による人数制限がある県議会とは異なり、希望者全員が質問できます。

これと並んで重要なのが「議案審査」。市民生活に直結する条例や予算について議論し、最終日に議会としての決定を行ないます。今回、その場を傍聴する市民の方の姿がありました。

私たちには、責任を持って決めた予算などが、どのように執行されるのかを見守る役割がありますが、議会での議論内容も知って頂けるように、議会だよりの充実等に努めたいと改めて思いました。

また、前号に掲載した会

派遣入への準備状況や、議会運営委員会で行なう予定の政務調査費使途基準の再点検などについてお知らせするのも議会だよりの役割だと痛感しています。

国と違って自治体は、首長と議員が直接選挙で選ばれる「二元代表制」です。地域主権が進み、「チーム議会」としての資質が問われる今日、責任ある言動を心がけ、信頼される議会でありたいものです。

（泰）

## 編集委員

◎山崎 秀明 ○多久島 繁

前田 久年 草野 謙

松尾 博幸 盛 泰子

顧問 内山 泰宏 占野 秀男

樋渡 雅純

## 発行

伊万里市議会

伊万里市立花町一三五—一

☎0955-123-2111

☎0955-22-1277

E-mail: gikai@city.inari.jp

## 編集

市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社